

越前市実行委員会ニュース IV

越前市実行委員会事務局

原子力防災計画を考える越前市民の会

〒915-0813 越前市京町1-4-33

◆ 現在、原発は1基も動いていません！ でも電気は足りています。◆

福島の様状を目の当たりにして、なぜ大きなリスクを冒してまで、まだ原発を動かさなくてはならないのでしょうか。未だ流れ出る汚染水も止められない。溶け落ちた核燃料のありかも定かでない。そして実効性のない避難計画づくりに自治体も頭を悩ませています。

＝ 福井県全県 ＝ <11月30日現在>

・ 53,779 筆

＝ 越前市署名集約数分 ＝ <12月10日現在>

・ 知事あて7,489筆（うち県外620） ・ 市長あて3,131筆

＝ お手元にお持ちの署名用紙を事務局までお届け下さい ＝

◆ 第1次集約は1月15日 ◆

～引き続き署名集約にご協力お願い致します～

当初、県実行委員会では第1次集約を年内として、知事に提出する予定でしたが、県の動きが計画より遅れている事を考えて第1次集約を1カ月先に延ばし1月15日としました。

- ・ 賛同人の皆さん、引き続きよろしくお願い致します。
- ・ まだ署名用紙を提出されていな方、一先ず12月27日までに提出お願い致します。（多少は問いません。12月末での集計を致します。）

～ 声をかければ80%の人が、署名に応じてくれます ～

ぜひ、一人でも多くの方にお声かけ下さい。1筆でも多くの声を知事に届けたいと思います。引き続きよろしくお願い致します。

* お正月に帰省のご家族・お友達にお声かけお願い致します*

◆ 越前市 10000 軒にポスティング ◆

12月に入って、越前市内10,000軒に後納ハガキを付けてポスティングしました。1通でも多くのハガキが返ってくる事を願っています。

高浜、大飯原発再稼働差し止めの仮処分を申請（12月5日・福井地裁へ）

～ 大津地裁の却下に危機感を持って ～

今回の申し立てに先立ち、去る11月27日、大津地裁は滋賀県の住民たちが高浜、大飯原発差し止めを求めた仮処分申し立てに対して「規制委員会が早急に再稼働を容認するとは考えにくい」と却下しました。この大津地裁の判決は「規制委員会が今の状況で早急に再稼働を容認するとは考えにくい」とし、「今は仮処分の申請を求める必要がない」という楽観的かつ地裁自らの判断を避けた非論理的な判決でした。

この大津地裁の判決に対し、今回の福井地裁への仮処分申請の申立人は、「川内原発（鹿児島）を認めた規制委員会が、高浜や大飯原発を現状で認めないというのは楽観的。原発を止める気のない司法に失望した」として、再稼働が迫っている福井の原発に対し「福井にある原発は福井地裁で止める」と述べています。

5月に福井地裁は「大飯原発の再稼働を認めない」判決を出し「司法は生きていた」と励まされましたが残念ながら国や関電は福井地裁の判決を無視する形で現在再稼働を進めようとしています。今回の仮処分が認められれば、基本的に関電は原発を動かすことはできなくなります。司法にもう一頑張りをお願いするものです。

♪ 裁判官を勇気づけるためにも署名を ♪

この夏、会が開催した「福井地裁判決の意義」の学習会の講師である、弁護団副団長の坪田先生から、講演の中で「裁判官を勇気づけるためにも、署名頑張って欲しい」と励まされました。

各地区、活発に学習会開催

<http://fukuikenminsyomei.web.fc2.com/>

今回の署名活動は、各市町に実行委員会を結成し学習会など独自の活動をしています。詳しくは「動かすな原発！ 福井県民署名」のHPをご覧ください、各自、関心のある学習会にご参加下さい。《ネット署名もこちらから》

これまでの収支報告 《引き続きカンパお願い致します》

【収入】

メモリアルアクションより	15,000	3.11メモリアルアクション残金
賛同金	30,000	一口500円
カンパ	155,741	
合計	200,741	

【支出】

印刷費・紙代	98,777	会報4回、学習会チラシ、資料他、後納ハガキ(2万枚):48,000
事務用品	8,853	封筒:4,787 ホッチキス針、ゴム印:4,066
郵送費	26,031	ニュース4回他
講師謝礼	20,000	福井地裁判決の意義、逃げ遅れる人々DVD
会場費	37,208	学習会(4回/うち商工会議所29,160)
広報	6,696	プリン掲載代
合計	197,565	

*200,714 - 197,565 = 2,726 (残金) < 12月10日現在 >